

公民館だより

さくらぎ

平成8年8月号
桜木公民館
徳山市城ヶ丘2-4-21
TEL. 0834(28)5973
FAX. 0834(29)0788



梅雨明けを前にして、今年最高の気温を記録した真夏の七月十三日、とおの山登山道草刈り作業を実施しました。

「手伝って」の呼びかけに応じて、各自治会からと、とおの山サポーター草刈り機隊の方々を含めて、三十八名の方が参加されました。

石井ヨミ会長の「ふるさとの山をみんなできれいにしましよう。」という挨拶のあと、平原コースと滑りコースの二つに分かれて山顶に向かって道づくりを行いました。

例年より雨が多かったせいか、道を覆わんばかりのシダ、カヤ、サルトリイバラ、ハゼなどの除去作業開始。

ボランティアの皆様ありがとうございました。

これから予定

8月

- 3日(土) ふるさと徳山花火大会
- 4日(日) 山口県知事選挙投票日
- 8日(木) 子ども工作教室・スズ虫配布
- 9日(金) 在宅老人お世話教室(第3回)
[食事・排泄・移動等]

14日(水)

16日(金)

- 事務所お盆休み
- 23日(金) 在宅老人お世話教室(第4回)
[鼓海園にて体験学習]

25日(日) 3世代交流

ペタンク・グランドゴルフ大会
中央東部4地区球技大会

そこで、このたび公民館より四軒南側の空き地を、臨時駐車場としてお借りすることになりました。公民館に御用のあるかたのみ、どうぞご利用ください。

公民館の駐車場は全部で十台分もないため、利用者の路上駐車が多く、近所に迷惑をおかけしております。

そこで、公民館より四軒南側の空き地を、臨時駐車場としてお借りすることになりました。公民館に御用のあるかたのみ、どうぞご利用ください。

公民館の駐車場は全部で十台分もないため、利用者の路上駐車が多く、近所に迷惑をおかけしております。

8月8日(木) 午前11時~

スズ虫を飼つてみませんか。城五の嶋田武雄さんが、飼育された数百匹のスズ虫を分けて下さるそうです。

御希望の方は、8月8日(木)午前十一時、公民館へ容器を持って来て下さい。

一人十四程度、先着順

に差し上げます。飼い方については、パンフの説明書を用意しています。

寝苦しい熱帯夜など、スズ虫の「リーン、リーン」の鳴き声で涼をとつてください。

街の声

道路にはみ出した庭木は通行の邪魔です。カーブミラーが見えなかったり、とがった葉が顔に当たったりしますので、早めに剪定して下さい。

今後の計画としては、桜木種団体との共催で「さわやか学級」「ボランティア講座」「在宅老人お世話教室」「急救講習会」などを開講します。その活動のようすを、公民館急法講習会などを開講します。そこで、桜木公民館では各老連のおばあさんを講師に、八月八日に「夏休みストローカー工作教室」を開く予定にしております。小学生の皆さん楽しみにしていてください。

公民館はコミュニティ活動の拠点であると共に、生涯学習の場としての大変な役割を持っています。

情報化社会なので、新しい知識も吸収しなければなりません。余暇社会なので、生きがいづくりのお勉強も大切です。せまりくる高齢化社会への対応も不可欠です。

そこで、桜木公民館では各

種団体との共催で「さわやか学級」「ボランティア講座」「在宅老人お世話教室」「急救講習会」などを開講します。その活動のようすを、公民館急法講習会などを開講します。そこで、桜木公民館では各

老連のおばあさんを講師に、八月八日に「夏休みストローカー工作教室」を開く予定にしております。小学生の皆さん楽しみにしていてください。

在宅老人お世話教室

六回シリーズで始まった「お世話教室」の二回目が七月二十六日に行われました。当日は「寝たきりにならないため」の介護の実際について勉強しました。

次回の内容は「介護機器の活用」で八月九日に行われます。

講議の会

講議の会のレクリエーション

嘉川公民館

七月十一日、山口市嘉川公民館より運営審議委員さん十一名が来館されました。

「公民館を核とした生涯学習のまちづくり」のようすをお話ししたあと、「リズム体操」「健康料理教室」「人形劇どんぐりの会」などを見学していただきました。皆さんの熱心な活動ぶりに感心して帰られました。

いざというときのために 救急法講習会

七月十七日、子ども会のお母さん方を中心とした中央病院の宮内豊先生(桜木二丁目)を講師に迎え「救急法講習会」が行われました。

救急法の心得がない方も分かりやすい内容で、後に参加者全員が人形相手に人工呼吸や心臓マッサージの実戦練習。

終始なごやかな雰囲気ながらも、身に付ければ人の命を救うことができるかも知れないと、受講者は真剣に取り組んでいました。

ボランティア講座開講

桜木地区協・徳山市杜協・桜木公民館共催の、ボランティア講座が開講しました。

第一回講座は、三十五名の参加者のもと、元三田尻女子高校校長・樺代敏満先生の「地域に根ざすボランティア活動」の講義をいたしました。

当日受講された、堺谷明美さんから次のよきな感想をいただきました。堺谷さんは数年前より日が不自由になり、ボランティアを受ける立場にあるために、お話を身近に感じられたようです。

第二回目は九月六日、周陽福祉作業所九時半現地集合で、福祉活動の体験学習を行います。希望者は今からでもどうぞ参加してください。



桜木を



温かい心の通り

ボランティア講座
堺谷 明美

桜木先生のお話の中で豊かな活動と温かい心を感じました。障害者の私よりしっかりと気持ちを理解していく必要があるとおどろきました。それは、ボランティアに対する心の深さや大切さを考えて活動していくことがわかるからです。

現実には、同情やさけて通る人が多く、お金を払ってタクシーに乗っても気を遣う、まっすぐに歩くために消えかかった白線を頼りに道を歩いていても、クラクションを鳴らし迷惑がる人。不快な思いをする事もあります。

これから日焼の暑い中で、ふれあいを通して一人でも多くの方がボランティアの心を見つけ活動されるよう願っています。私も自分ができるボランティアを見つむよろと願っています。